

9 月	豊川 愛護モニター報告	モニター区間	豊川:左右岸 吉田大橋～新城橋
			管轄出張所:豊川流域治水出張所
実施日	令和 4 年 9 月 20 日	実施区間	江島橋～金沢周辺



上記は、9/20(火)の午後 2 時頃の豊川の江島橋から下を、金沢橋から上を撮影したものです。もちろん、警報が解除された後です。日本列島は台風 14 号の直撃を受け、愛知県は直撃を免れましたが、全国で 2 人死亡 1 人行方不明 けが 142 人の被害が出ました。接近にあたっては、猛烈な 台風に発達し、中心気圧の最低値は 910hPa、中心付近の最大風速は最大 55m/s と、身震いがするほどの台風でした。「非常に強い勢力」で鹿児島県に上陸し、日本海へ抜けていきました。規模でいえば、ほぼ伊勢湾台風匹敵していました。幸いにもコースが異なったので、東海地方には大きな被害が少なくてすみました。



上記左は、昭和 44 年 8 月、豊川にとっては戦後最大洪水となり、宝飯郡一宮町江島（現「豊川市江島町」）で破堤した写真(国土交通省 HP より)です。多くの家屋が床上浸水するなど甚大な被害が発生しました。破堤した個所は江島橋と金沢橋の間の左岸堤防でした。その後、上記右にあるような堤防が新しく築堤され、下流に豊川放水路も作られて以後は、氾濫などはありません。けれども、想定外の台風や降雨が頻発する近年においては、とても安心してられません。昭和 44 年の水害を想定し、避難所の確認や避難経路の確保を日頃から行っておきたいと思います。近隣の自主防災会アンケートによると、警戒レベル 4 が出ても自宅 2 階へ逃げる方が 2 割以上、避難する場所を決めていない方が 1 割以上いるとのデータがあります。 河川愛護モニター